

交流センターだより



No.170
令和5年
5月号

大歳地域交流センター
公式 Twitter アカウント

発行 大歳地域交流センター TEL 922-4035 FAX 922-4036 人口 14,088 世帯数 6,940
開館時間 8時30分～17時15分 (行政窓口 TEL 922-2461) (令和5年4月1日現在)

第63回大歳地区体育祭を開催します！

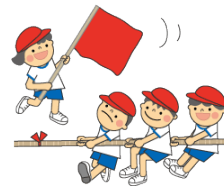
4年ぶりに『大歳地区体育祭』を開催します。「付かず！離れず！飛ばされず！？」、「目指せホールインワン」、「宅配便ゲーム」を新規種目としているほか、その他の競技についても、前回の体育祭から若干のリニューアルを加えています。また、昼休憩中には子ども会ジュニアリーダーが未就学児・小学生を対象にレクリエーションを企画しています。お年寄りから子どもまで楽しめるプログラムとなっていますので、多くのみなさんの出場・応援をお待ちしています！

日時：5月21日(日) 午前9時00分～ 大歳小学校グラウンド

☆プログラム、宅配便ゲーム参加者募集回覧は5月1日号の市報と一緒に配布します。

☆宅配便ゲームは個人参加OKです。詳しくは回覧文書をご確認ください。

※雨天中止です。開催の場合は当日午前6時30分に煙火を打ち上げます。



分館対抗ソフトボール大会を開催します！

第66回大歳地区分館対抗ソフトボール大会を榎野川運動公園で開催します。地区内の親睦を深めつつ、日頃の練習の成果を十分に発揮し、優勝を目指しましょう！

出場希望は各地区分館長・体育委員さんに5月12日(金)までに直接お申し込みください。

日時：6月11日(日) 午前9時00分～

場所：榎野川運動公園

主催：大歳体育振興会

※雨天中止です。



【大歳体育振興会】

事務局 (大歳地域交流センター内)

TEL: 083-922-4035

大歳地区子ども会で一緒に活動しましょう♪

大歳地区子ども会では、今年度の新規会員を募集しています。

【対象年齢】（大歳地区在住の方）

年長～小学6年生

【対象期間】

令和5年4月1日～令和6年3月31日

【年会費】子どもお一人200円（保険料のみ）

【申込先】大歳地域交流センター 地域担当

※申込時に、年会費も持参してください。



SDGs竹 竹細工教室 ～受講生募集～

竹の割り方・剥ぎ方の基本を学びながら『ござ目編み盛り籠』を作ります。身近な竹で生活に必要な物を作りませんか！

場所 交流列車おとし

（JR山口線 大歳駅 駅舎内）

日時 第2・4火曜日（5月9日開講）

13:30～15:30

問い合わせ 田中 勉 (090-7595-1560)



みんなのひろばからのお知らせ

「きららシニア大歳」では、地域の皆さんが楽しく集う広場を開催しています。どなたでも参加可能で、申し込みは不要です。気楽にご参加ください♪

★内容

・山口弁ラジオ体操

・楽しく遊びながら脳を活性化しよう！

今月は「あやとり」に挑戦します。

・ニュースポーツ「カローリング」に挑戦！

★日時 5月20日（土）

13時30分～15時30分

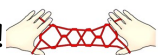
★場所 大歳地域交流センター 講堂

★参加費 100円

※おやつ付きドリンクバーもありますよ。

★服装 軽い運動ができる服装で来てください。

★問い合わせ 大窪 (080-2904-8193)



太陽クラブからのお知らせ

5月の太陽クラブ

おしゃべり茶話会

日時：5月26日（金）10時00分～

内容：おしゃべり会

子どもたちを自由に遊ばせながら、

おしゃべりしましょう♪

飲み物やお菓子付きです☆



場所：大歳地域交流センター 和室

参加費：無料

持参物：子どもの飲み物

募集人数：未就園児の親子10組程度

申込期限：5月19日（金）まで

申込先：水原 (090-4897-5649)

母推さんの子育て応援講座

おしゃべり交流会

風薫る五月です。新しい友だちづくりを始めませんか。妊婦さんもよければどうぞ！

【日時】5月10日（水）

10時00分～11時00分

（受付9時30分～）

【場所】大歳地域交流センター 和室

【定員】乳幼児とその保護者15組程度

【持参物】子どもの飲み物

【申込先】大歳地域交流センター 地域担当

(083-922-4035)

※令和5年5月1日（月）から申込受付開始

青空コーラスからのお知らせ

童謡、唱歌、昭和の歌、合唱曲など毎週月曜日に練習しています。楽譜が読めなくても大丈夫です。

この度、お楽しみ会を企画しました。お茶菓子を準備しています。歌やお話でリフレッシュしませんか？

【お楽しみ会】

日時：5月15日（月） 14時00分～16時00分

場所：大歳地域交流センター 講堂

【青空コーラス活動内容】

日時：毎週月曜日 14時00分～16時00分

場所：大歳地域交流センター 講堂

会費：入会金500円、年会費1000円のみ

備考：年齢制限なし

問い合わせ：松尾 (080-3875-6681)



山口市保健センターからのお知らせ～歩数アップサポート 参加者募集！～

～新規参加者には条件達成で図書カードプレゼント！&Wチャンスも！～
「歩数アップサポート」に参加しませんか？

期間限定の取り組みで、生活の中で、無理なく歩数アップできるよう応援します。

詳しい取り組み方法や、プレゼントの条件は歩数アップサポートで検索！

■対象者 市内に在住・在勤・在学している方のうち、定期的な運動習慣がない18歳以上の方

■参加費 無料（ただし、記録の提出にかかる料金は参加者負担）

■チャレンジ期間 6月1日（木）～8月31日（木）の3か月間

■申込期間 5月31日（水）まで

■申込方法

右記の二次元コードか、受付窓口に設置の申込書に必要事項を記入し提出してお申し込みください。



申込フォーム



■受付窓口 各保健センター、各地域交流センターおよび分館

■問い合わせ

山口市保健センター（健康増進課） 電話 083-921-2666

E-Mail kenko@city.yamaguchi.lg.jp

小郡保健福祉センター 電話 083-973-8147

秋穂保健センター 電話 083-984-8031

阿知須総合支所 電話 0836-65-4211

徳地保健センター 電話 0835-52-1114

阿東保健センター 電話 083-956-0993

【大歳地区5月の行事予定】

1日（月）燃やせないごみの日

5日（金）ぶっくん来館日（15:20～16:00）

10日（水）母推さんの子育て応援講座（10:00～11:00）

15日（月）青空コーラス お楽しみ会（14:00～16:00）

18日（木）金属・小型家電製品ごみの日

19日（金）パソコン相談（受付 10:00～10:30）

ぶっくん来館日（15:20～16:00）



20日（土）みんなのひろば（13:30～15:30）

21日（日）大歳地区体育祭

22日（月）古紙ペットボトル分別収集（大歳①）

24日（水）びん・缶ごみの日

26日（金）子育て支援サークル 太陽クラブ（10:00～）

27日（土）大歳小学校運動会

29日（月）古紙ペットボトル分別収集（大歳②）

※木曜日はプラ容器包装分別収集



「お堂」や「お寮」から公会堂へ

前号で述べたように、自治会名の多くは江戸時代以来の小名（字）を引き継いだものです。小名ごとに、かつては年に何度も寄り合いを行い、飲食をともにし、また農作業の相互支援を行う、極めて密接なつきあいが行われていました。ですから、そうした寄り合いのための集合場所が必要とされます。それが『お堂』とか「お寮」と呼ばれた建物で、おそらく、屋根と板張りの床があるだけの簡素な「あずまや」が多かったと思われます。「お堂」は民間信仰の対象であったお地蔵様やお大師様、大歳様などを祀った場所でもあり、お寮はお堂より一回り小さい「庵」や若衆宿などに由来する建物を指していたようです。

ところが、こうした建物の多くが姿を消す大事件が起きました。それが天保期、長州藩改革で有名な村田清風による『淫祠解除政策』の展開でした。天保13(1842)年7月、清風は「淫祠談」を提出、9月には、これに基づいて寺社奉行が「淫祠解除」を発令します。これは由緒のはっきりしない民間信仰に由来する建物や石物・石像・石碑などを破却させるという乱暴な政策で、藩が承認する宗教以外の由来のはっきりしないものは排除するのですから、庚申塚からお地蔵様まで撤去の対象とされました。

村の寄り合いの多くは地蔵様のまつりとか水の神のまつりなど民間信仰と結びついていたのですから、こうした寄り合いも開きにくくなったことは言うまでもありません。清風ファンであった小郡の林勇蔵が熱心に淫祠解除政策を実行したことは良く知られていますが、大歳地区でどの程度実行されたかはよくわかりません。しかし、2万点を超す道端の石像や石碑などが破却された（実際は村人が撤去して隠しておいた？）、小名内の大半の祭りや寄り合いは中止に追い込まれたと思われます。さらに一説に、9660余の寺社・堂庵が破却されたと伝えられますから、大半のお堂やお寮は解体の憂き目を見たことと思われます。天保期に始まり、大歳では朝田神社への7社合祠（=6社解体）まで続く寺社の解体・合併・廃棄によって、大歳にもたくさんの廃寺の伝承が残ることになりましたし、寺より小さく無住が多いお堂などはその確認さえ困難であったと思われます。

しかし、お堂やお寮はその後、復活し、やがて公会堂という形で現在に伝わっていますが、伝わり方には大きな変容の跡が見られます。かつてのお堂やお寮は好きな時に誰でも勝手に使える場でした。だから、こどもにとって、お堂に行けば誰かが待っている最良の遊びの場でした。しかし、建物は立派になったが、カギのかかった場所、許可されたものが使う場所となった公会堂では、大人の認可なしに子どもが勝手に遊べない場所になりました。しかも入会するのに何万もの金がいるという不可解さが残ったままです。もう一度、お堂やお寮時代の使い方を検討する時が来ているのではないのでしょうか。（大歳史談会、文責 武波義明）



今は平地だが、お寮はここまであった



お寮の跡は小さなお堂に（馬庭）